



長野県支部だより

夏の音が聞こえてくる

道を歩いていると「風鈴」の音が聞こえてくる…今の時代では少なくなった夏の音ではないでしょうか。風鈴の音はどこか心地よく、吹いている風まで涼しく感じられます。

もともとは中国の占風鐸(せんふうたく)という占いがあり、音の鳴り方や風向きで占っていたのが風鈴の由来だといわれています。日本には仏教文化とともに伝わり、魔除け・邪気払いとしてお寺の軒先に吊るされるようになりました。



長野県は「避暑地」というイメージがあると思いますが、夏の日中は意外と暑く、平野部では真夏日となることも珍しくありません。毎年7月から8月にかけて花火大会が各地で行われています。花火は「目」で感じて、「耳」でも感じる夏の風物詩です。この近くで有名なのは諏訪湖花火大会でしょうか。風鈴の優しい音、打ち上げ花火の豪快な音、ヒグラシなどのセミの鳴き声…。

秋の音といえば何を思い浮かべますか？ 旧盆を境に朝晩の空気は「秋」へと入れ替わります。

